

イントラネットからエクストラネット (1)

今から7年ほど前、日本では「STARLAN」などのLAN関連機器が販売されている状態でした。6年ほど前にNetWare 3.1が発売され、アメリカで一般的であったLANが日本でも普及するのではと話題になっていました。そのころ三菱電機はapricot社を傘下にしてFTサーバを発売し、LANサーバとして多くのシェアを獲得した時期でもあります。営業活動としては「クライアント・サーバシステム」として拡販を行っていましたが、特に北陸ではなかなか開拓できなかったように思います。

クライアントサーバシステムは、それまでのLANが共有資源としてのデータやプリンタを各クライアントで共用しようとしていたのに対して、一歩踏み出して、データベースを共有化し、クライアントからデータベース検索などの部分をサーバへ移す事によって、より使いやすいシステムとするものでした。また、「電子メール」などのグループウェアの活用も、ビジネスに有用なものとして拡販を図ったものです。

このような状態が3年ほど続き、突然のように注目されてきたのが「インターネット」です。インターネットの発展からすれば、歴史は5年とも10年ともいえませんが、日本では、「Windows 95」の発売と相前後して普及したといってもよいでしょう。とくにこの1年に各企業は競ってホームページを持ち、各種申し込みにも利用されてきています。世界中のいろいろなホームページから情報を得ようとするものとして、インターネットは利用されているものと考えられます。

インターネットは、不特定多数に対しての情報発信ですから、利用者側の端末の条件をあまり限定するものであっては問題があります。一方、これまでのクライアントサーバシステムは、クライアント側の端末のアプリケーション環境を一定以上にする必要があり、大規模システムを構築したり、広範囲のWANを構築する場合その端末の環境を管理する事は手間がかかるものとなります。このような端末の環境管理を簡単にする方法としてインターネット技術の応用が考えられ、イントラネットと呼ぶプライベートネットワークが注目されてきました。

イントラネットは、端末のアプリケーションとしては、ブラウザのソフトがあれば使う事ができますから、管理者としては管理しやすいシステムという事ができます。このイントラネットが注目されているうちに新たに浮上してきたのが、「エクストラネット」です。イントラネットが雑誌などで照会されて1年半、これからはイントラネットといっているうちに「イントラネットはもう古い」という記事があり、今度はエクストラネットという状況です。エクストラネットは、インターネットの利用を踏まえて高度なセキュリティ技術を取り込んだ、企業間を含んだプライベートネットワークで、情報系中心の企業内システムであったイントラネットから、企業間の情報共有ばかりではなく、アプリケーションの共有の可能性も持っている。プライベートネットワークであるイントラネットの形態を取りながら、その中で他社に対するセキュリティを持ったものが「エクストラネット」という事ができます。

(情報誌トピックス)

○ 経コンビ 5月12日号

特集 運用サービスの「値段」を斬る

→クライアントサーバシステムの普及で、運用支援サービスのニーズが高まってきているが、「値段」の妥当性が疑問視されている。具体的なサービスの内容と料金を開示する「情報開示度」の高い例を取って実際の見積もりを試みている。

特集 国内コンピュータ市場展望 97年度は7%の成長へ

→2000年対応など再び拡大基調にある

○ 経エレクトロニクス 5月5日号

特集 ディスプレイ、大競争時代へ

→これまでCRTが中心であったディスプレイ市場に、パソコン用を中心に液晶が参入し、新たにPDP、FED、有機ELパネル、背面投射型ディスプレイが登場してきた。未開拓の地はすでになく、市場の大争奪戦が始まった。

解説 テレビとの融合を始めたパソコン

→マイクロソフトの発表した「PC98」では、ケーブルテレビを含めたアナログ方式のテレビ放送の受信機能を一部で義務づけ、他方でプラグアンドプレイによる拡張拡張を推進し、家庭市場の活性化をねらう

○ 経パソコン 5月5日号

特集 Win95マシン快適アップグレード法

→アプリケーションの高機能化によって、よりパワーのあるパソコンが必要とされてはきているが、実際買い換える事はできない。今のパソコンをどのようにしてパワーアップするか、プランニングから実践まで。

特集 これならできる文書管理

シートフィードスキャナの選び方と活用法

→2万円台からあるシートフィードスキャナが文書管理でどの程度使えるのか、文書管理のコツから製品選びのポイントまでの特集

スペシャル ケーブルコネクタ大図鑑

→いろいろなものが登場し、本体のコネクタも絵文字表示となっているケーブルコネクタ。図解で再認識

広告企画 地図ソフト/地図情報システム特集

メーカーが語るマッピングソリューション

→電子地図や地図情報システムなどの広告特集

○ 経オプティクス 5月号

特集 グループウェア再考

→1つのベンダーの製品で構成されていたグループウェアもインターネット技術を応用する事によって新しい動きが出てきた。改めてグループウェアを再考する時期にきている。

フロント 先進企業に見るデスクトップ管理
ツールに頼るだけでは不十分、運用体制がTCO（ハードソフト、システム運用、ユーザ運用のトータルコスト）削減の鍵

○ 経 マルチメディア 5月号

特集 WWWに潜む著作権の落とし穴

→インターネット上でホームページのコピー、リンクはどこまで許されるのか。コンテンツ製作者と使用者の間での契約の遅れなど数多くの問題が残っている。

テクノロジー 電話線を10倍以上速く使える「ADSL」

米国で商業化目前、日本は対応進まず

→ADSLは電話と箱となる周波数帯を使ってデータをやり取りする技術体系。1.5Mから8Mビット/秒を達成できる

○ PC WAVE 6月号

特集 ゼ～んぶ「謎パ～」 「PDA」

→PHS機能を持った新しい携帯情報端末や、ちょっと特殊な小型機の特集

レビュー TDKのPCカード型モデムによる携帯電話、PHSでの通信を検証する

→TDKにはPCカード用のオプションケーブルにデジタル携帯電話用接続アダプタキットがあり、14.4kのモデムでデジタル携帯電話に接続が可能！

○ LAN TIME 6月号

特集 OCNは企業ネットワークに耐えうるか？

→NTTは128kbpsの専用線IP接続サービスOCNのサービスを開始したが、回線の使用状況、セキュリティなどユーザ側で対処すべきところも多い。

インテグレーション 高速ネットワーク時代が招いた新たな混乱

→100MLAN、ATMなど高速なネットワークがいろいろと出てきている。ユーザではその選択に混乱が生じている

○ DOS/V magazine 5月15日号

特集 最新最強のハードディスク選び

→HDDの最新動向から増設/メンテナンスのつぼまで

特集 アウトドア・ネットワーク入門

～PIAFSとαDATAの実力を体感～

→春からスタートしたPHSによるデータ通信サービス。しかし、PIAFS、αDATAなどと通信方式がいくつも入り乱れている。接続するホスト側でも対応が必要で、なかなか有効に利用できない。現状と活用方法について解説